



「学校は子どもが育つ土壌である」

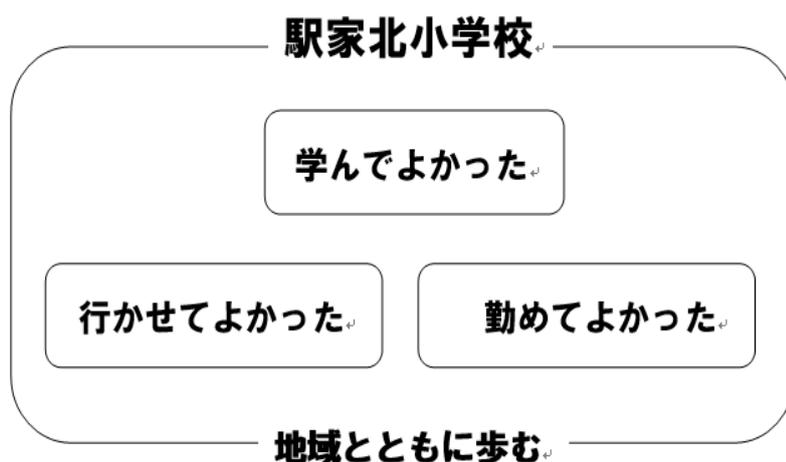


私が尊敬する元校長 藤原凡人（かずと）先生は、自らの教育理念として冒頭の「学校は子どもが育つ土壌である」という言葉をいつも我々に説いてくれました。学校は、たとえば言えば、植物の成長に必要な土壌の役割を果たすところであるということです。

そして小学校は、人間として生きていく基礎・基本を身につける場所ですから、根を張る土壌づくりは特に大切です。とかく成長が目に見えやすい、植物で言えば地表に出た部分の花とか実とかに目が行きがちですが、私たちが担う小学校教育で大切にしなければならないのは、地下の部分です。人間としての基礎・基本とは、すなわち根っこをいかに確かに育てるかということになります。

駅家北小学校に勤務する私たち教職員全員が、それぞれの個性を十二分に発揮して土壌の肥料（栄養分）となって、子どもたちのたくましい根っこづくりに邁進していきたいと考えます。どうぞよろしくお願いいたします。

満足度 100% の駅家北小学校



2025年（令和7年）4月 駅家北小学校長 河田節生